

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 22 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名
NGUYEN HUY NGOC			
指導教員氏名 松田 紀之			
報告書題目			
キューピー株式会社日本市場における競争力・中国市場展開可能性 (キューピー事業別日本市場競争力分析)			
報告書概要			
<p>キューピーグループの主力事業をより強く、弱い事業を少しでも強くすることを目的として、日本市場においてキューピーグループの主力事業のマヨネーズ・ドレッシング事業と売上・営業利益が一番低い健康機能事業を選び、GE マトリクス手法の「業界の魅力度」と「自社の強み」に関する評価基準を数値化し、事業を可視化することで相応しい方針を提案した。</p> <p>GE マトリクス分析結果により、日本市場におけるマヨネーズ・ドレッシング事業について、業界魅力度が「中」とキューピーの強みが「高」であり、一方、健康機能事業について、業界魅力度が「中」とキューピーの強みが「中」という結果となった。そのため、国内市場において、キューピーは魅力が高いセグメントを判断して商品を展開する必要がある。</p> <p>具体的に、マヨネーズ・ドレッシング市場の中に、キューピーは健康系マヨネーズに注目、一方、健康機能事業について、高齢者・病者用食品に注目するべきである。特に、キューピーは同社の健康機能事業の食品特徴を利用して、成長性が高い在宅介護食品市場をターゲットにするべき。また、在宅介護食品の購入者が商品を選びやすいために、日本介護食品協議会の介護食品の「区分」の定義を使用して、使用者に相応しい商品の案内機能を直販サイトと商品パッケージと販売コーナーに追加する必要があるという結論となった。最後に、日本市場の魅力高くないので、2つの事業とも海外展開・進出に注目することを提案した。</p>			
審査日	平成 23 年 1 月 31 日		
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	Ph.D.in Organizational Behavior	渡辺 真一郎
副査	筑波大学 教授	Ph.D. in Sociology	松田 紀之
副査	筑波大学 准教授	工学修士	大貫 裕二
副査	筑波大学 准教授	博士(商学)	岡田 幸彦